



「租税教室」 ～ 税金ってなんだろう? ～ (6年生)

1月28日(火)に、いわき法人会の方を招き、6年生を対象とした「租税教室」を行いました。初めに、税金の種類にはどのようなものがあるかを考えました。次に、「もし、税金がなかったらどうなるか」を題材としたアニメーションを見て、税金が公共事業や社会保障、災害復旧など、私たちの安全や快適な暮らしのためなどに使われていることを学びました。また、毎年、国の予算は税金だけではならず、国債などで補っていること、税金の使い方にも強い関心をもつことが大切であることなどがわかりました。日常のニュースにも関心を持ち、「今、何が起きているか」、「どうすれば解決できるか」などを考えていってほしいとのお話いただきました。最後に、一人一人が1億円の「見本」を手を持ち、重さを体感しました。



「ユネスコ出前授業」 (6年生)

1月29日(水)に、いわきユネスコ協会の方々にお越しいただき、6年生が「ユネスコ」について学習しました。1時間目には、全体授業で、「ユネスコの目的や活動の概要」について説明をいただきました。子どもたちは、「ユネスコが、戦争や内戦をなくすため、教育・科学・文化の交流を通して、困る人々が出ないように活動している」ことを知りました。2時間目は、学級ごとに分かれ、講師の先生からお話をいただきました。ユネスコ憲章前文にある「戦争は、人の心の中で生まれる」や、「人の心の中に、平和の砦(とりで)を築かなければならない」について理解し、日常の中で自分自身が心がけていくべきことを考えました。

